

岩付太田、後北条に仕えた

戦国雑兵記



新井甲一郎

期待の
新鋭作家

混乱の関東戦国期で
したたかに巧みに戦場を生き抜いた
雑兵達の物語を描く

定価(本体 1200 円+税)
四六判・並製本・195頁
ISBN 978-4-89623-121-2

歴史小説

武州岩付太田領朝日村は、霧に覆われていた。時刻は六つ半である。

けたたましく、百舌の鳴き声が霧の中から聞こえた。が、その後、元の静けさが戻る。足音がして、霧の中から人の姿が浮かび出た。背の高い大男で、着物のすそを端折り、腰に刀を一本帯びている。四角い顔の中で、両の目が油断なく光っている。

身形からして只の農民とは思えない。

(本書「雑兵半次郎」冒頭より)

岩付太田領で年老いた母と共に農事にいそしんでいた半次郎は、ある日、領主太田資正に仕える足軽に誘われ、弓組として、河越夜戦、松山城攻めなど各地の戦いに身を投じていく……。また近隣の村に住み乱暴者として知られる同世代の丑松は、槍組に加わり、戦場の前線へと活躍の場を求め……。

そして戦乱の中でたくましく生きる彼ら雑兵の物語は次世代へと受け継がれていく。



- 「雑兵半次郎」
- 「雑兵丑松」
- 「雑兵松二郎」
- 「雑兵半平」全四編

河越夜戦、平井城攻城戦
松山城攻城戦
上杉謙信の小田原城攻め
国府台合戦など
関東戦乱を舞台にした
歴史小説短編集

申込書

戦国雑兵記

岩付太田、後北条に仕えた

新井甲一郎著

(本体1200円+税)

ISBN 978-4-89623-121-2

注文数	冊
お名前	
電話番号	
書店名	

まつやま書房 ☎ 0493-22-4162
Fax 0493-22-4460
〒355-0017 東松山市松葉町3-2-5

問い合わせ先 **まつやま書房**

〒355-0017 東松山市松葉町3-2-5
Tel.0493-22-4162 Fax.0493-22-4460

<http://www.matsuyama-syobou.com/>